

東京都内でのカラスのクルミ割り行動

青梅自然誌研究グループ 御手洗 望

昨夏は大きな台風が来た年で、青梅市でも多摩川に広い礫河原ができました。昨年10月のことですが、そうした礫川原でハシボソガラスがオニグルミの実をくわえて20～30m飛び上がっては実を落とすという行動を確認することができました。何回も落とすうちにクルミは割れ、中身を嘴でほじくって食べる様子も観察しました。食べ終わるとすぐに新しいクルミをくわえて現れ、同じ行動を繰り返していました。こういったクルミ落としの行動は全国で観察されており、海岸沿いでは堅い殻を持つ貝類を食べるときにも行われるそうです(唐沢1988)。



〔渡部良樹氏撮影〕

このような行動は東京都内ではどれくらい観察されているのでしょうか。日本野鳥の会東京・研究部のメーリングリストなどで寄せられた情報から、クルミを落とす行動は大田区・世田谷区・八王子市・青梅市・昭島市・羽村市・福生市・小金井市・日野市・羽村市・あきる野市など都内各地で確認されていることが分かりました。また、江戸川区では貝を落とす行動も観察されているそうです。これらの記録のほとんどはハシボソガラスによるものでしたが、ハシブトガラスによるものもありました。古い記録では1990年初め頃(八王子市)という報告もあり、以前からこのような“文化”を持ったカラスが東京都にいたことがわかりました。また、ハシボソガラスがクルミを割るもう一つの方法として、自動車に轢かせて割る、というのが知られています(仁平1995)。



こうした行動は北海道や東北、北陸地方で報告されていますが(柴田2007)、都内でも八王子市、日野市や福生市で見られたことがわかりました。

都内でクルミや貝類を落として割る、車に轢かせて割るといった観察をされたことのある方は情報をお寄せください。また、これ以外にもカラスの面白い行動があれば是非お知らせください。

【連絡先】 〒198-0063 東京都青梅市梅郷5-1028-1オウルタウンB-2 御手洗 望
windswift@hotmail.co.jp

以下の方々には観察記録をお寄せいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

粕谷和夫、金森光伸、清水徹男、鈴木弘行、成末雅恵、廣田行雄、古沢 紀、渡部良樹、八王子・日野カワセミ会の各氏(敬称略)

【参考文献】 唐沢孝一(1988) カラスはどれほど賢いか。中公新書。中央公論社。東京/仁平義明(1995) ハシボソガラスの自動車を利用したクルミ割り行動のバリエーション。日本鳥学会誌44:21-35。日本鳥学会/柴田佳秀(2007) カラスの常識。寺子屋新書。子どもの未来社。東京

八丈島でのアカコッコの保護研究を考える

日 時：2012年4月13日(金) 午後6時30分開場、7時～9時

会 場：日本野鳥の会東京・事務所 《詳細は次号で》